

小 千 谷 市 社 会 科 部 の 活 動

1 教育課程研究集会伝達講習

以下の内容のように伝達講習を実施した。

(1) 社会科の目標

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

(2) 新しい評価の観点

【平成22年度までの評価の観点】

- 社会的事象への関心・意欲・態度
- 社会的な思考・判断
- 観察・資料活用の技能・表現
- 社会的事象についての知識・理解



【新しい評価の観点】

- 社会的事象への関心・意欲・態度
- 社会的な思考・判断・表現
- 観察・資料活用の技能
- 社会的事象についての知識・理解

※ 評価の観点：社会的な思考・判断・表現 → ○○○適切に表現している。

(3) 新しい学習評価のポイント

- ① 評価基準を細切れにしない。
- ② 4観点に順序性・優位性はない。
- ③ 1単位時間の中で、4観点全ての評価を行うものではない。

(4) 各観点の評価における配慮事項

① 社会的事象への関心・意欲・態度

- 「社会的事象への関心」と「社会生活に生かそうとする態度」



社会事象への関心



学んだ成果を社会生活等に生かそうとする態度



必ずしも行動や実践を求めるものではなく、

考えようとする姿勢、思いや願いなどを受け止めて評価することも大切

※ 学習カードやノートなどにより、どの児童についても評価できるようにする。

② 社会的な思考・判断・表現

- 「思考・判断」と「表現」を一体的に評価

思考・判断したことは、説明、論述、討論など、「話す」「書く」といった言語活動で表現される。

- 「学習問題を見いだす」場面と「社会的事象の意味を考える」場面を評価

③ 観察・資料活用の能力

④ 社会的事象についての知識・理解

- 単元ごとの基礎的・基本的な知識を明確にする。

(5) 言語活動の充実

目的でなく手段である。この活動を通して、思考力・判断力・表現力を伸ばしていく。

2 「生活科と社会科をどのようにつなげていくか」というテーマで協議を行った。

- 生活科は学びの楽しさ、方法を知ることが大切である。町探検等の活動を通して、インタビューや見学方法を学んだり公共のマナーを身に付けたりする。
- 生活科は、自分の生活との結び付きが多い。それに気付きの視点を与えることが重要である。
- 生活科で体験し気付いたことが、3年生からの社会科につながっていく。
- 生活科で楽しいと感じることは大切だが、気付きを持たせる必要がある。
- ものの見方が大切である。生活科は身の回りのこと、社会科は、地域、日本、世界へと広がっていく。